

日本の祭り



北海道 福島町
「松前神楽」



高知県 室戸市
「シットロト踊り」



広島県 安芸高田市
「安芸のはやし田」



和歌山県 串本町
「河内祭の御舟行事」

いま、出かけよう！
日本の心を感じる祭典へ！
古来より、その地に根付く歴史と伝統を今に伝える祭りとは、
先人たちより受け継がれてきた、芸術と技能がここにある。

この冊子の内容は右記のホームページからご覧になれます。地域伝統芸能活用センター <http://www.dentogeino.or.jp>

この冊子は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



歴史と伝統の継承。 日本の魂をつなぐ祭りと伝統芸能

実施日 毎年5月1日
今年は5月1日(日)



富山県 高岡市 **高岡御車山祭**

実施日 毎年旧暦6月10日
今年は7月13日(水)



高知県 室戸市 **シットロト踊り**

6 5月 / 安芸のはやし田 P4

10 7月 / シットロト踊り P6

実施日 毎年7月27・28日
今年は7月27日(水)・28日(木)



神奈川県 真鶴町 **貴船まつり**

6 5月 / 安芸のはやし田 P4

10 7月 / シットロト踊り P6

実施日 毎年7月24・25日
今年は7月24日(日)・25日(月)



和歌山県 串本町 **河内祭の御舟行事**

5 5月 / 松尾寺の仏舞 P4

9 7月 / 河内祭の御船行事 P5

地域伝統芸能賞受賞祭事を中心に選出しています

実施日 毎年5月8日
今年は5月8日(日)



京都府 舞鶴町 **松尾寺の仏舞**

1 5-9月 / 松前神楽 P3

7 7月 / 青森県南部地方の虫送り P5

2 5-9月 / 谷地の舞楽 P3

3 5月 / 高岡御車山祭 P3

4 5月 / 油日の太鼓踊り P4

8 7月 / 貴船まつり P5



目次

- 日本各地の祭り・伝統芸能分布図 P1・P2
- ① 松前神楽 P3
- ② 谷地の舞楽 P3
- ③ 高岡御車山祭 P3
- ④ 油日の太鼓踊り P4
- ⑤ 松尾寺の仏舞 P4
- ⑥ 安芸のはやし田 P4
- ⑦ 青森県南部地方の虫送り P5
- ⑧ 貴船まつり P5
- ⑨ 河内祭の御船行事 P5
- ⑩ シットロト踊り P6

北海道
福島町

まつ まえ かぐら 松前神楽



実施日

毎年4月下旬～5月上旬、9月第2金・土・日曜日と16日(本祭)
今年は5月5日(木・祝)…松前桜祭り
今年は9月9日(金)…宵宮祭
9月10日(土)・11日(日)…祭礼行列
9月16日(金)…本祭

江戸時代以来の伝統を引継ぐ、洗練された神楽

松前神楽の起源は350年程前とされています。この神楽は古式釜立に習い、惣神拝に続き、神楽初以下十二事鎮釜湯立の儀式と二十一事の舞楽を合せて三十三の神事によって構成され、優雅さと勇壮さを持ち合わせています。松前神楽は、明治廃藩置県まで、松前藩庇護の下で傳承されてきましたが、鯉漁の北上とともに道南地方から後志方面にも伝えられています。舞楽は、楽人と舞手からなり、能楽系・舞楽系、番楽系及び伎楽系統が混在して構成されている事も松前神楽の特徴であり、折目正しい格調高い芸能です。祭礼時に各神社で奉奏されるほか、正月、春秋祭や新築祝いなどで行われています。



アクセス

- 福島大神宮例大祭
バス：JR北海道「木古内駅」より函館バス「福島」下車約7分
車：函館市より車約120分

福島町水産商工課商工観光グループ(福島町観光協会事務局)
<http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/div/kankou/index/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

山形県
河北町

やち ぶがく 谷地の舞楽



実施日

毎年5月5日、9月17～19日
今年は5月5日(木・祝)…慈恩寺 一切経会
9月17日(土)・18日(日)・19日(月・祝)…谷地どんがまつり

1,100余年もの間に伝えられる日本四大舞楽のひとつ

谷地の舞楽は、国指定重要無形民俗文化財である林家舞楽であり谷地八幡宮の神職をつとめる、林家が傳承する舞楽です。林家の祖「林越前政照」は大阪四天王寺の楽人でした。平安初期の貞観二年(860)山寺開創のうちに僧円仁(慈覚大師)に隨從して出羽に下り山寺に舞楽を司ったと伝えています。平安中期には、東北最大の古刹慈恩寺と江戸期より谷地八幡宮にも舞楽を司り今日に至っています。傳承の舞楽の最大の特徴は、早く地方に下ったため貴族による改作を殆ど受けておらず、より古代の様式を多く伝えていると評価されています。舞楽の奉奏は毎年9月谷地どんがまつりで行われます。



アクセス

- 谷地どんがまつり
電 車：JR山形新幹線「さくらんぼ駅」よりバス約20分
車：山形自動車道「寒河江IC」より車約20分
東北中央自動車道「東根IC」より車約10分

河北町観光協会
<http://www.benibananosato.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

富山県
高岡市

たか おか み くるま やま まつり 高岡御車山祭



実施日

毎年5月1日
今年は5月1日(日)

日本でも屈指の華やかな山車が町並みを練り歩く

毎年5月1日に開催される「高岡御車山祭」。1588(天正16)年、豊臣秀吉が後陽成天皇を聚楽第に迎え奉るときに使用した御所車を、加賀藩祖前田利家が拝領し、高岡開町の祖・二代前田利長が1609(慶長14)年、高岡城を築くにあたり町民に与えられたのが始まりとされています。京都祇園の祭礼にならって鉦山に改造され、高岡関根神社の祭礼日に神輿と共に曳廻されてより以来、今日に至るまで高岡の発展とともに繼承されてきました。御車山は御所車形式に鉦を立てた特殊なもので、金工、漆工、染織等の優れた工芸技術の装飾がほどこされた日本でも屈指の華やかな山車です。「高岡御車山」は国の重要有形民俗文化財・無形民俗文化財の両方に指定されています。これは日本全国で5件指定されている内の一つです。



アクセス

電 車：あいの風とやま鉄道「高岡駅」より徒歩約5分

公益社団法人 高岡市観光協会ホームページ
<http://www.takaoka.or.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

甲賀市
滋賀県あぶら ひ たい こ おどり
油日の太鼓踊

実施日

例祭 毎年5月1日
(太鼓踊は、不定期開催)

雨ごい祈願として元禄時代から伝承されている踊り

油日神社は陽成天皇の御代、元慶元年11月13日、油日神に神階を授けられたことが国史三代実録に見える国史見在の古社です。江州無穏大社と仰ぎ甲賀の総社として甲賀武士と地頭領主の崇敬を受けてきました。

油日神社氏子地域に伝わる太鼓踊は早魃時の雨乞い祈願の祭礼で、昔から不定期に行われてきました。

昭和48年11月5日、国選択無形文化財に指定された太鼓踊は降雨祈願・お願いの「大踊(おおおどり)」、返礼・歓喜の「小踊(こおどり)」があります。

かつては地域ごとに伝わる踊りがあったようですが、現在、大踊は毛枚のみ、小踊は油日・上野・五反田の3ヶ所に残っています。踊りの様子については、大踊は厳粛に、小踊は賑やかであり、その内容は地域ごとにやや違いがあります。

アクセス

電 車：JR草津線「油日駅」より徒歩約30分
車：新名神高速道路「甲賀土山IC」より車約20分
名阪国道「上柘植IC」より車約15分

甲賀市観光協会

<http://www.koka-kanko.org>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

舞鶴市
京都府まつのお であら ほとけ まい
松尾寺の仏舞

実施日

毎年5月8日
今年は5月8日(日)安芸高田市
広島県あ き だ
安芸のはやし田

実施日

毎年5月最終日曜日
今年は5月29日(日)

約600年前から続く優雅な舞い

松尾寺の仏舞は、松尾寺の本堂の中で毎年5月8日に披露されていて、越天楽の譜に合わせて優雅に舞うもので、本堂で僧侶が読経した後、「大日如来」「釈迦如来」「阿弥陀如来」三仏の面をつけた6人の舞人が登場し、雅楽の太鼓や笛の演奏音に合わせて、ゆっくりと両手を目の前で翳したり、内や外を向いたり、上下させながら回るなどのゆるやかな舞いを披露します。

この仏舞は、地元では600年ほど前に始まったと伝えられ、仏面の箱に書かれた享保10年の銘文や享保20年、また宝暦11年から天保12年にかけて書かれた記録によって、18世紀には、4月8日の仏誕会に仏舞が行われていたことが確認できます。4月から5月になったのは明治以降といわれています。

現在、松尾地区を中心に周辺地域の人も参加して伝承・公開されていますが、昭和40年代ころまで、それぞれの仏や楽器ごとに伝承する家筋が決まっていた、まず、その家の長男に、また長男の家に跡取りがない場合は弟の家に限って厳密に伝えられてきました。



アクセス

電 車：JR小浜線「松尾寺駅」より徒歩約50分
車：舞鶴若狭自動車道「舞鶴東IC」より車約20分

松尾寺ホームページ

<http://www.matsunoodera.com>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

国の重要無形民俗文化財指定の田植え民俗芸能

平成9年12月15日、原田はやし田は、「安芸のはやし田」として山県郡大朝町の新庄はやし田と共に、国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。

「原田はやし田」は、中国山地に残る数少ない大田植えの一つです。大田植えは、江戸時代末期から各村々で盛んに行われていましたが、戦時中中断し、以後多くの大田植えが姿を消していきました。原田地区では戦後いち早く、若い有志が「はやし田」の復活に向けて動き始めました。幸いに古老や先輩も多く、田植え唄本や用具類も集まり、10年後にはあまり原形を損なうことなく復活させることができました。そして、昭和32(1957)年1月10日「原田田楽団」を結成。嗣はやし、早乙女、綱方(牛を追う人)が一同となって、依頼を受けてはあちこちの田植えに出て行きました。それが「原田はやし田」の実地での練習となったのです。

もともと原田地域は、耕地の多くが厚い粘土と深い泥におおわれ、稲作には不適な土地柄でした。そのため、田植えの始まる時期には、太陽と土と水の神(さんばいさん)を招く神事を盛大に行うようになり、その神事田植えが「原田はやし田」の本来の姿といえます。また、腰まで泥に浸るような湿田での独特な田植え唄「原田節」は、その極めてゆるやかなリズムが多くの学者や研究者の目を引き、これが指定の基になったと思われます。



アクセス

車：中国自動車道「高田IC」より車約5分

安芸高田市観光協会ホームページ

<http://akitakata-kankou.jp/>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

青森県 南部

あおもり けんなんぶ ちほう むし おく

青森県南部地方の虫送り

青森県 各地

実施日 毎年7月頃に各地区にて開催
今年は7月頃各地にて(詳細未定)



県指定無形民俗文化財 田子町飯豊地区の虫送り

稲作の害虫の駆除・予防と豊作を祈願して行われる行事

虫送りとは稲作に害を及ぼす虫を追い払う行事であり、田植え後、村人が行列を組んで村境まで送るなど集落を単位とした共同祈願の儀礼です。南部地方の行事は、「虫ボーイ」や「虫ボリ」などと呼ばれ、もともとはそのほとんどが旧6月24日に行われていました。藁などで男女一対の人形を作り、「悪虫退散」などと書かれた幡(ハタ)を持って、太鼓・笛・鉦などで囃し、人形を踊らせながら村を回り、最後に村はずれに立てたり、谷川に投げたり、燃やすなどしてその人形を送る方法はさまざまです。

ホームページ	八戸市	http://www.city.hachinohe.aomori.jp/index.cfm/1.html
各市町村	十和田市	http://www.city.towada.lg.jp/
町	南部町	http://www.town.aomori-nanbu.lg.jp/
村	五戸町	http://www.town.gonohe.aomori.jp/
ジ	田子町	http://www.town.takko.aomori.jp/
	七戸町	http://www.town.shichinohe.lg.jp/

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

神奈川県 真鶴町

貴船まつり

神奈川県 真鶴町

実施日 毎年7月27・28日
今年は7月27日(水)・28日(木)



豊漁豊作・無病息災を祈願する日本三大船祭りのひとつ

真鶴港の近くにある貴船神社の例大祭であり、貴船神社のご神体を神輿に乗せ、船で港を渡り(海上渡御)、町内を豊漁豊作・無病息災を祈願しながら巡行します。古くからの伝統を重んじた格式のある船まつりとしても有名で、日本三大船まつりと称されるときも、国の重要無形民俗文化財にも指定されています。現在も各部組織の結束や厳しいしきたりなどが随所に残されていますが、当時の漁業、石材採掘業や回漕業の常に危険な生活の中で、団結力と信仰心を高めた故のものと思われます。メインの海上渡御は、4種7隻の船で構成され、中でもひと際目を惹くのがたくさんの提灯や豪華絢爛な彫刻で飾り付けられた東西2隻の小早船。また、貴船神社の急な108段の階段を気迫に満ちた男たちが約800kgと言われる本神輿を担いで降り、そして上がっていく姿は圧巻です。他にも、鹿島踊り、花山車、真鶴ばやしなど、貴船まつりの見どころは一言では言い表せないくらい盛りだくさんです。

真鶴町観光協会ホームページ
<http://www.manazuru.net>

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

電 車：JR東海道線「真鶴駅」より徒歩約15分

和歌山県 串本町

河内祭の御船行事

和歌山県 串本町

実施日 毎年7月24・25日
今年は7月24日(日)・25日(月)



国の重要無形民俗文化財指定の盛大な舟の祭り

古座川流域の5地区(古座・古田・高池下部・宇津木・月の瀬)が担い手となって行われてきた伝統祭礼。河口に位置する古座の中心産業は漁業、その他の地区は主に山林業を基軸に長年コミュニティーを形成してきました。このように性格を異にする地域が年に一度、共に河内祭神社(河内様)に集い、それぞれ独自のやり方で祭礼を行うという、他に例をみない形式の祭りです。祭りのハイライトは、江戸時代に沿岸捕鯨で栄えた古座の鯨船に華麗な装飾を施し、軍船に見立てた2隻の御船(みふね)の水上渡御です。古座河口から約3キロ上流の「河内様(コオツタマ)」と呼ばれ、ご神体とされる川の中の小島まで「河内大明神」の神額を掲げた御船が廻り、そこが主祭場となります。御舟行事と古座青年会の古座獅子は、「河内祭の御舟行事」として文化庁の重要無形文化財に指定されています。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。

アクセス

電 車：JR紀勢本線「古座駅」より徒歩約20分

古座観光協会ホームページ
<http://kokoza.com/index.html>

高知県
室戸市

シットロ踊り



実施日

毎年旧暦6月10日
今年は7月13日(水)

300年以上続く、魚の供養と豊漁祈願の踊り

シットロ踊りは漁業の町ならではの「魚供養」「漁招き」を祈念する踊りで、古来カツオ漁業の「夏がれ」にあたる旧暦6月10日の早朝から1日を通して無ると町内の神社、仏閣等約30ヶ所に奉納する芸能で、昭和38年には高知県無形民俗文化財に指定されています。

シットロという名は音頭唄に出てくる「シトロ」に由来したもので、シトロとは踊りに使われた赤白青色の紙房を飾りつけた竹棒のことで、今日では日の丸の扇に変わっています。

由来については約300年前に三蔵と言う船主が毎朝奈良師の浜で魚供養と漁招きを龍宮様に祈りながら自分で作った唄を唄って踊ったのが始まりとか、人魚に教わった踊りである等諸説あり、はっきりとした由来は伝わっていません。

踊り子は浴衣姿にテゴ、色とりどりの猿の人形の付いた笠、足袋、ワラジに日の丸の扇子を持って円になり、音頭、太鼓、鐘を囲んで踊ります。猿の人形には「難を去る」「災いを去る」という厄除の意味が込められています。

※実施日付・場所等スケジュールが変更になる場合があります。お出かけの際は、事前に最新の情報をご確認ください。



アクセス

電車：後免奈半利線「奈半利駅」より車約30分

一般社団法人 室戸市観光協会ホームページ
<http://www.muroto-kankou.com/>



「まつりーと」が、あなたの町のお祭りを 元気にするお手伝いをします!

たとえば、こんなことにお困りでしたら、
ぜひご登録ください。

- 祭り参加者をスムーズに集めたい
- 祭りの担い手が少なくなり、
他地域から参加者を募りたい
- 他地域からの祭り参加者を増やして、
町を活性化させたい

「まつりーとサイト」で出来る事

- 参加者の募集
祭りへの参加者を募集するため、募集情報を掲載することができ、
参加希望者からの情報は、メールにて受け取る事が出来ます。
- 祭り情報、周辺観光情報の掲載
祭りを広く周知するため、祭り情報も掲載することができます。
その他、周辺の観光情報等を掲載でき、いつでも更新することができます。

<http://matsuri-sanka.net>

まつりーと事務局(一般財団法人地域伝統芸能活用センター)
TEL . 03-5809-3782 E-mail : support@matsuri-sanka.net

人とまつりと地域をつなげる

まつりーと

まつりーと





宝くじは、 みなさまの 豊かな暮らしに 役立っています。

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の
整備をはじめ、少子高齢化対策や災害に
強い街づくりまで、さまざま
かたちで、みなさまの
暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。



一般財団法人

日本宝くじ協会

ホームページ

<http://jla-takarakuji.or.jp/>

